

# 日刊 勤労千葉

85.6.6

No. 1957

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（六・公衆）〇四七二（22）七二〇七

## 第12回 O B 会総会開幕

6/2~3

元亀丸はつらつ、養老采谷、大多喜城、  
笠森観音の初夏をたんのう、交流

勤労千葉 O B 会第十二回総会が六月二、三日、養老采谷の岩風呂別館「川之湯」で開催され、旧交をあたためると同時に現役に協力し、力を合わせて待遇改善をかちとることを確認した。

「永生きし、みんなで  
がんばろう」  
— 宍戸会長が元気にあいさつ —

参加者一行は六月二日、十三時、千葉駅に集合し、バスで出発した。養老采谷を見学しながら、十五時頃に旅館に到着、直ちに総会を開会した。

冒頭、宍戸会長は役員会を代表して「養老采谷は、かつて千葉地本時代に乗務員分科会の発足大会を開いた思い出の地です。この地で第十二回 O B 会総会が開かれたことは誠に感慨深い。ただ、欲をいえばもう少し参加者が欲しかった。われわれ O B 会の仕事は、一口でいえば勤労千葉の活動にできるだけ協力することです。また、生活のもとである共済年金の充実、拡大のために現役と力を合わせて闘っていきな

い。私も還歴をひとまわりすぎたが、こうして元気である。昔のなつかしい仲間と永くおつき合いしたい。永生きし、酒を飲んで、みんなでがんばっていこう」とあいさつした。

「経過」「方針」を  
満場一致で承認

つづいて、本部を代表して水野副委員長は「いま、分割・民営化、十五万人首切りのすさまじい攻撃が襲いかかってくるが、これは、反動・中曽根内閣の戦争へむけた国鉄労働運動解体攻撃である。O B のみなさんたちに対する福祉・年金切り捨ても同質の攻撃であり、現役、O B が力を合わせて中曽根内閣を打倒しよう」とあいさつした。

議事に入り、関川事務長から経過報告、決算報告が、八町さんから会計監査報告が行われ、満場一致で承認された。

ついで、関川事務長から八五年度の活動方針、予算案が提案され、若干の論議の後、満場一致で承認された。

来年はもつと集めよう

討議の中では、「会費の納入方法を



「団体加盟の火災共済をどうするか」などの意見が出され、論議が行われた。最後に、「来年は、周りの仲間と声をかけ合って、なつかしい顔をもっと集めよう」ということを確認し、成功裡に閉会した。

ひと風呂あびた後、六時から交流会が行われ、ユーモアあふれる自己紹介のあと、カラオケ、民謡、踊りなど、とりわけ酒量は往年の機関車人をほろふつさせる豪快なものであった。翌朝は九時三〇分に宿を出発し、大多喜城、笠森観音などを見物しながら帰途についた。

一九八五年度役員

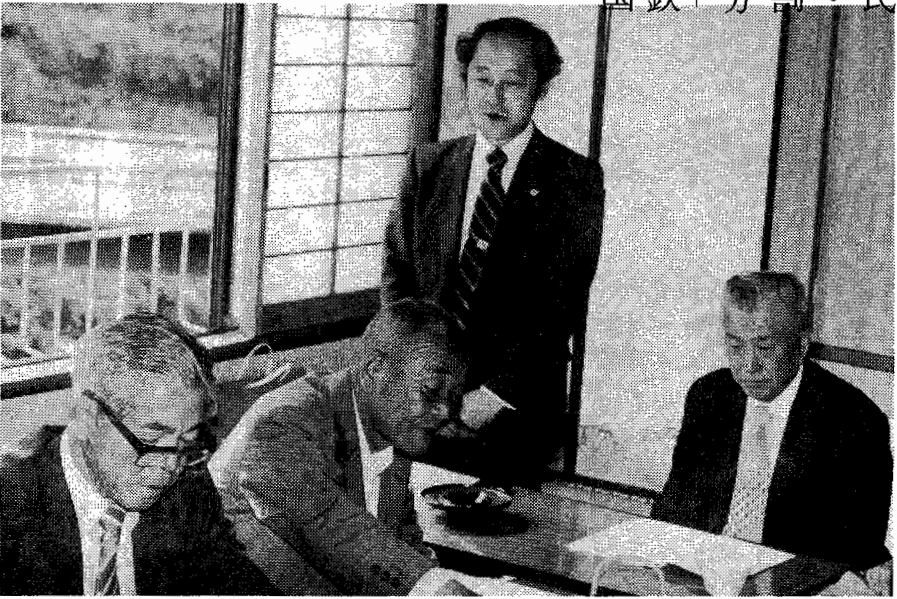
会長	宍戸良一
副会長	長谷川吉之助
“	松田五郎
“	林一男
“	杉山栄一
事務長	関川幸
会計監査	高橋力蔵
“	八町力蔵

●全職場で、全力でとりくもう！

『東峰十字路裁判被告への』

重罪・重刑適用に反対する署名

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！



国鉄「分割・民営化」阻止ノ三里塚二期着工粉碎ノ